

# R&Dの取り組み

インテージグループR&Dセンターは、固定化された組織ではなく、バーチャルな組織です。“Enjoy Innovation”をキーワードに、R&Dに興味を持っている人や新しい分野にチャレンジをしたい人がグループ間の垣根を越えて自由に集い、新たな技術創出に向け、さまざまな研究に取り組んでいます。

今回は、インテージグループR&Dセンター長から全体の活動内容を、メンバーの二人から個々に取り組んでいる分野や興味を持って研究を行っている内容について語ります。

## 社会課題の解決に向けた挑戦

現在、生活者の日常や企業活動は、デジタル化・自動化・AIの高度化・ビッグデータの活用などにより、大きな変化を迎えようとしています。この変化に対応していくためには、既存の事業の延長だけではなく、新しい価値を生み出す必要があります。

インテージグループR&Dセンターでは、インテージグループ全体のデータおよび今まで培ってきた生活者についての知見と新しい技術を組み合わせ、企業や団体のマーケティング課題のみならず、社会全体の課題解決に向けた研究に、さまざまな外部のパートナーとともに挑戦しています。

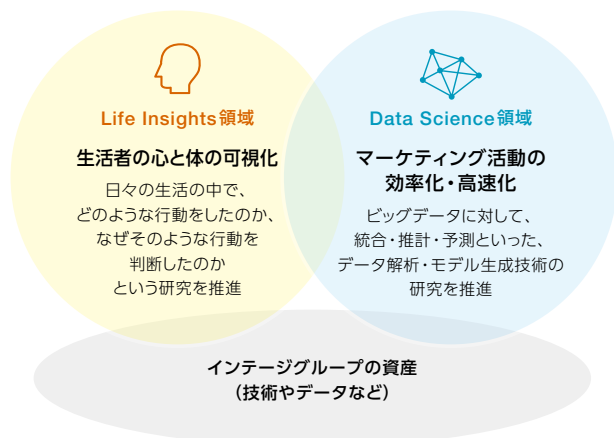
注力している研究分野は大きく分けて、Life Insights領域とData Science領域の2つになります(右図参照)。Life Insights領域では、知覚・認知・思考・感情といった、ヒトがどのように物事を捉え、どのように考え、どのように判断するのかというマインドに対する研究や、ヒトが日々の生活の中で、どのような行動をしたのか、なぜそのような行動を判断したのかという研究を行っています。一方、Data Science領域では、ビッグデータに対して、統合・推計・予測といった、より良い価値を生み出すデータ解析・モデル生成技術の研究、あるいは最適なデータ活用ができる環境・指標・業務などをデザインする研究があります。

こうした研究の成果が今のビジネスにつながり始めており、豊かで可能性の広がる社会の実現につながっていくと確信しています。

インテージグループ R&Dセンター長  
株式会社インテージ 開発本部長  
ながさき たかひろ  
長崎 貴裕



取り組み領域 ~より高度な生活者理解を目指す~

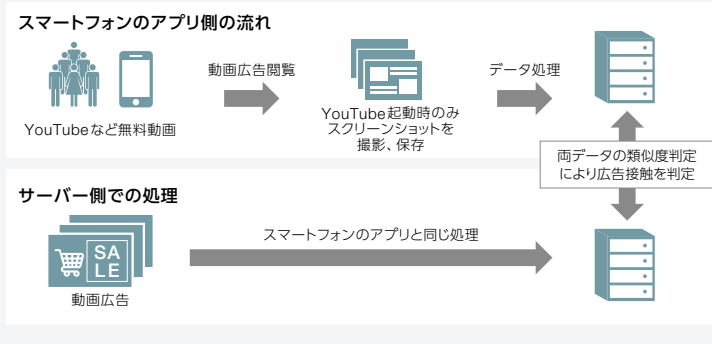


株式会社インテージ Life Log Data事業本部  
デジタルマーケティング部

J.T



### 広告接触の実験概要



### 新たな広告効果測定へのチャレンジ

企業の広告効果を測定するための接触判定の手法は、従来はCookie<sup>※1</sup>を用いてきましたが、プライバシーの観点から徐々に制限が厳しくなっています。一方で、デジタル広告、特に動画広告のニーズは高まっており、効果測定のニーズも同様に高まっています。2017年、R&DセンターのプロジェクトにおいてCookieに頼らない形で広告接触の判定を試みました。具体的には、個人のモニターさんに新たなアプリをインストールしていただきます。そのアプリは、動画サービスを使っている時のみスクリーンショット<sup>※2</sup>を自動的に保存する機能を持っているもので、そのスクリーンショットと広告動画を計算し、広告の接触判定を行うものです(左図参照)。なお、その際、モニターさんのプライバシー保護のため、画像はかなり縮小します。この技術を発展させ、モニターさんの許諾を得た上で、Cookieなどに頼らない独立した広告接触判定を行っていくことを目指したいと考えています。

※1 Cookie(クッキー)：Webサイトの提供者が、Webブラウザを通じて訪問者のコンピュータに一時的にデータを書き込んで保存させる仕組みのこと。

※2 スクリーンショット：コンピュータの操作画面に現在表示されている内容を丸ごと取り込むこと。また、そのようにして作成された画像データや画像ファイルを指す。

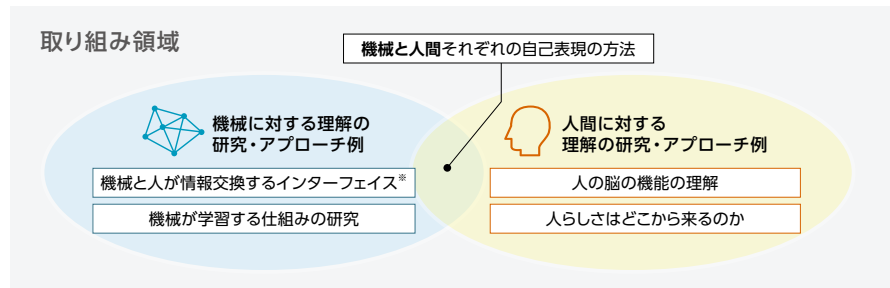
### 機械と人間に対する理解の深化

ここ数年、メディアなどでも、人工知能(AI)を使ったさまざまな作業の自動化が話題として取り上げられています。言葉だけ聞くと、自動的にスムーズな処理が行われるという印象を受けますが、実際にはアノテーション<sup>※</sup>といって、機械が学習するための正しいデータの作成に多大な人的資源が投じられていることがあります。もちろん、技術の進歩によりこの負荷は小さくなっていくでしょうし、これまで蓄積されてきたデータあるいは収集方法を改善することによって、より効率的に機械が学習できるような環境になっていくでしょう。

そんな中で課題になるのは、“人が人らしくあるための知能機械はどうあるべきか”という視点であると思っています。そのために、インテージグループR&Dセンターでは、機械と人間の双方に対する理解を深めていきたいと考えています(右図参照)。

株式会社インテージ 開発本部  
先端技術部

A.T



※インターフェイス：異なる種類のものを結びつける共用部分という意味で使われるコンピュータ関連のIT用語